

技術力アップ! キーパーコーティング 上達会 レポート

東洋石油販売(株)
関西販売支店様

【開催場所】備後セルフSS

【参加者】

- 備後セルフSS マネージャー 千葉様(1級資格者)
- 備後セルフSS 山根様(1級資格者)
- 石屋川セルフSS マネージャー 水野様(1級資格者)
- 備後セルフSS 安東様(2級資格者)

レポーター:
タイムス編集者
坪井 令子

■上達会の目的

コーティング技術1級資格者またはコーティング技術2級資格者を対象とした「上達会」を開催しています。現在、約2万人を超えるキーパーコーティング技術者の方々が、多くのキーパーコーティングを提供されています。技術者全員、キーパーの技術研修または検定を受けて正しい施工技術を身に付けられていますが、店舗に戻ってからの施工で、マニュアルから少しずつズレやムダな動きが発生する場合があります。この課題を解消し、皆さんの店舗で直接実践的な技術力を高めるためにプログラムされたのが「上達会」です。ピュアキーパーでコーティング作業の基本動作の磨き上げと、クリスタルキーパーの作業ポイントの確認と上達を実現することができます。今回はこの「上達会」の様子をレポート。キーパープロショップ様、施工店様、ぜひ「上達会」にご参加ください!

正しいと思っていた施工方法を見直し、 スポンジ幅、クロス面を 最大限に活かした施工方法を習得!

8月5日(月)、午後1時。炎天下の元、兵庫県加古川市にある東洋石油販売(株) 備後セルフSSにて開催されました。同社は、全社的に「クリスタルキーパーの技術力向上」を目標に掲げ、今夏のキーパー選手権の追い込みも見込み、各店舗が積極的に上達会に参加されています。

今回参加された4名の課題や悩みは、①ケミカルが隙間に入ってしまう②施工に時間がかかってしまう③レジンの拭き上げがうまくできない④仕上げが不十分でムラができる、以上4つ。これらの課題を解消し、クリスタルキーパーの施工技術をアップさせるため、まずはピュアキーパー施工をインストラクターの大阪営業所・鳥巢係長が実演。

なぜクリスタルキーパー施工技術向上にピュアキーパー施工を学ぶのか?それはスポンジの動かし方、使い方の基本は、ピュアキーパーにあるからです。スポンジ幅を活かして有効的に作業する。これがムダなく、高品質なクリスタルキーパー施工を行う大きなポイントとなります。

参加者の皆さんはインストラクターのムダのない動きを見逃すまいと集中して確認した後、2名1組で実際にピュアキーパー施工を開始。インストラクターよりケミカル量やスポンジの使い方、身体の動かし方のアドバイスを受け、これまでの施工が、我流になっていたこと、手間がかかっていた、やりにくかったことの理由を理解した上で、自分の施工を見直しながら、次は1台を1人



実技シートを使い、参加者の作業方法をチェックし、改善します。

で施工を実施。もう1人が実技シートで作業が確実にできているかどうかをチェックして客観的に作業を確認しました。

インストラクターも同様にチェックを行ったところ、4名ともコーティング作業に時間がかかり、仕上げを短縮しがちであるという傾向があると分かりました。

この課題を持ちながら、いよいよクリスタルキーパーの上達プログラムへ。ピュアキーパーと同様、インストラクターの実演により、爆白ONEのケミカル量・スポンジの使い方、隙間に入れず塗り広げる方法や洗い流し方などを確認。爆白ONEの洗い流しは高圧ガンでサッと流すだけでなく、泡流しの時にしっかりやることで作業スピードを高めることができることには目からうろこの様子でした。

その後、ピュアキーパー施工で学んだスポンジの使い方を適用し、ガラスコーティング、レジンコーティングを塗布。課題となっていたレジンの拭き上げでは、4つ折りにしたレジンを親指でしっかりロックして、表裏4面を使って拭くことをインストラクターがアドバイス。これまで表裏2面を使って取り替えていましたが、4面使うことでタオルを有効的に使うこともできます。実践ではクロスを替えるたびに拭いた感覚が軽くなっているのを実感しながら、拭き上げで9割まで仕上がることを確認。ムラは必ず真正面からチェックボードを使って見ること、ムラをなくすコツとして、クロスを引く時にも力を入れて、面を最大限に活かし、隙間なく、重なることなく拭き上げることに納得していました。コーティング作業を丁寧にやろうとスピードアップすることで、仕上げに時間をかけることの重要性を認識されていました。「自分が正しいと思ってやっていたことが



インストラクターが1つひとつの作業を丁寧に説明します。

間違っていたことを認識し、つねに向上する技術を認識するため定期的の上達会に参加したい」と皆さん汗だくになりながらも充実した表情を見せていました。



ピュアキーパーの基本動作がクリスタルキーパー施工の技術向上のカギ。

参加者の感想

- ★スポンジで塗りを行う時の手の返し、動かし方がよく分かった
- ★直線的にスポンジを動かすことが丁寧かつ作業のスピードアップにつながる
- ★ケミカルを隙間にいきなり塗り込まないことで入り込みを防げる
- ★レジンの拭き上げを一発で終わらせようとしていたことが逆に手間になっていることが分かった
- ★レジン拭き上げの方法、力の入れ具合が分かってムラを少なくできて良かった
- ★少人数制は、個人的にもアドバイスを受けることができ、技術向上につながる

日新商事(株)様

【開催場所】けやき通りSS

【参加者】

- セルフ大野木SS マネージャー 野村様(1級資格者)
- セルフ千代田通SS マネージャー 興 様(1級資格者)
- セルフ太平通りSS マネージャー 八幡様(1級資格者)
- セルフ高岳町SS マネージャー 千村様(1級資格者)

レポーター:
インストラクター
三浦 健典

水、ケミカル、作業スピードのムダ解消! 「楽しく施工する」が実現!

カリキュラムどおり、ピュアキーパーからスタート。参加者の方の中には、ピュアキーパーの研修を受けられたのが5年位前の方もいて、マニュアルは全く忘れられている様子でした。

まずは私が説明をしながら、1台施工。その後、それぞれの作業のポイントをお伝えし、2人で1台を施工しました。

作業が終わるたびに皆さんに集まっていただき、こうしたら手くなる!という部分をお伝えし、繰り返しました(特に側面のスポンジの使い方と手数)。

その後1人1台で上達会実技シートを使って作業を行い、皆さん上手になられていきました。「サブマネージャーにも上達会を受けさせたい」という声もいただきました。

次の爆白ONEの作業では、特に側面はしゃがんで施工し、スポンジの使い方も素人のWAX掛けのように施工されているとのことでした。最初に施工をお見せしたところ、「こんなに楽に施工して良いんだ」と驚きの声。実際に施工をやっていただくと、ピュアキーパーの時のように、軽快に施工されていました。

続いてダイヤモンドケミカルの作業をスタート。特に夏はムラになってしまい、苦労しているそうです。作業をお見せし、いつもの作業との違いを聞いてみると、「ボディの水の量が少ない」「ケミカルの量が少ない」「作業のスピードにムダがなく、ケミカルが乾かない」とのこと。ピュアキーパーの作業の様に軽快に楽しそうに作業され、「これならもっと施工台数が増やせる」と言っていたことができました。



次はレジンの作業。16時30分からスタート。太平通SSの八幡さんは、この時間からレジンをスタートしたら、上達会の終了時間は21時くらいだと覚悟をされていたとのこと。レジンを塗る際に、ゴシゴシ力を入れる必要がないこと、4面拭きをお伝えし、拭きやすさも実感していただきました。楽に拭くことができることを実感され、「これは良い!」と言いながらどんどん作業を進めていただけました。

また現場では、かなり使い込まれて傷んできたクロスやスポンジを使用されていたので、作業性が悪くなることをお伝えし、道具類を全て見直しすることをおすすめしました。

参加者の感想

- ★レジンの拭き上げが断然楽になった
- ★ダイヤモンドケミカルの作業の際に水が足りなかったことがわかった
- ★ダイヤモンドケミカルの作業をムダに丁寧にやり過ぎていた
- ★爆白ONEももっと楽にできることがわかった
- ★作業後の洗車も、施工時に隙間にケミカルを入れないことで楽になった